

発行日 2010年2月15日
編集責任 さいたま市議会議員 土井裕之

tel 048-886-2858
fax 048-873-3446

E-mail doi@doih.net
HP http://doih.net

FROM EDITOR

議会では定例会の初日に市長が施政方針を述べます。中でも、予算審議を行なう2月定例会、つまり今議会の施政方針は、予算案と絡むものであり注目していました。内容は、自らの言葉で表現され、市長の自らの意志を示そうという思いの伝わるものに。前市長時代と、こんな点も大きく変化しています。施政方針は市議会HPでご覧になれます。



BEFORE

- 2月8日 見沼特別委/会派会議
- 2月9日 本会議初日/予算委/武蔵浦和会館新年会
- 2月10日 本会議/生協連関係者との懇親
- 2月11日 会派政策条例PT
- 2月12日 文化議連「国風盆栽展」
- 2月13日 さいたまシティカップサッカー/明大校友会/新政治研究会「ネット利用」

AFTER

- 2月15～17日 代表質問
- 2月19日 市民生活委

2月議会は2月9日から3月19日までの予定です。

編集責任 さいたま市議会議員
土井裕之

profile: 1971年、旧浦和生まれ。川口北高校卒業。1999年より浦和市議を2年勤め、3市合併の際、辞職。2003年・2007年さいたま市議に当選。2008年、明治大学公共政策大学院卒業。無所属で活動中。



所属会派 民主党・無所属の会さいたま市議団
市民生活常任委員会（委員長）
所属 議会運営委員会（理事）
委員会 決算特別委員会
見沼田圃将来ビジョン特別委員会
予算委員会（2月定例会のみ）



2.8 保存から活用へ 見沼田んぼ特別委員会

広大な自然空間を有する見沼田んぼ。ここには、多岐にわたる課題が存在しています。2月8日、委員会が開かれ、10人ほどの議員より行政サイドに質疑する機会がありました。行政の担当の「みどり推進課」（都市局）以外に道路管理課や農業委員会など複数の所管課が出席していたことから、見沼がいかにより様々な法律や仕組みの中に存在しているかがわかります。この多種多様の利害調整も今後の課題です。

委員からの質問では、これまで担当してきた埼玉県からさいたま市が見沼を引き受ける覚悟があるのか、野菜の直売所の整備、地権者の意向確認などについて質されました。

私は、数年前に発生した違法盛り土により市道や芝川に被害を受けた「宮後」の回復状況、通船堀などの活用、歩行散策者の車からの安全、について質しました。見沼は自然の保全から一歩進み活用へ、というのが私の持論です。

2月議会 代表質問

各会派の代表者もしくはそれに準じた議員により行なわれる代表質問。市長以下、行政職員に対し、施政方針や予算に絡めた大局的な視点からの質問がなされます。私の所属する会派からは高柳議員（中央区）と添野議員（浦和区）が2月16日午前中に登場します。この模様は、市議会HPで生中継されます。2月15～16日、10～15時（目安）。

市民生活委員会 今回の審議内容

私が委員長を務める市民生活常任委員会。
この委員会は、市民局・環境局・消防局を所管しています。
今回の日程は3日間。主なものは以下の通りです。

2月19日 消費者庁訪問、調査

消費者庁担当の福島瑞穂大臣を表敬訪問するとともに、消費者行政について担当者よりヒアリング。

2月22日 議案審議など

行政からの報告2件
議案5件の審議・討論・採決
議案外質問 消費者行政の調査研究

2月23日 盆栽調査

昨年の枯死事件のその後と、美術館の会館前の最終チェック。
行政に対する質疑と美術館の視察へ。